



広島大学歯学部

歯科衛生士教育研修センター主催

厚生労働省補助事業

2022年度 前期 リカレント研修会

第2回

「X線写真の重要性と正確な画像診断 —経過を追えるX線写真を求めて—」

LIVE配信：2022年5月19日(木) 19:30~21:00

オンデマンド配信（録画視聴）：2022年5月23日(月)~2022年6月1日(水)



さがら歯科

院長 相良正明 先生

ご略歴

- 1989年 広島大学歯学部卒業 (19回生)
- 1993年 広島大学大学院歯学研究科歯学臨床系
(歯科補綴学第一) 専攻修了
- 1993年 広島大学助手・歯学部付属病院勤務
- 1995年 松山赤十字病院 歯科・口腔外科勤務
- 1998年 さがら歯科開業

講演の要約

私たちが行う歯科臨床において、その経過や変化の一つとして同じものはなく、患者の症状は、日々刻々と変化します。その変化を読み取り、適切に診断し処置をしていくことが私たちの仕事だと考えています。

その変化を捉える手段の基本は、X線写真であると思います。一つのX線写真から多くの情報を読み取り、それに対処していくことが大切です。歯科医学的な根拠の説明がつかないことも沢山起こります。しかし、それに対応するためには多くの臨床経験が必要で、そのためには経過を追えるX線写真の蓄積が必須であると考えています。

現在X線写真の画像診断もアナログからデジタルへ転換が進み、新規に開業する診療所においてアナログを導入する先生は極めて稀であると思います。しかし、それぞれにメリット、デメリットがあり、画像診断にも注意すべき点があると考えます。

今回はX線写真の重要性と、正確な資料採取を行うために大切なことを、アナログとデジタルの違いなどを交えてお話しさせていただきます。

お申し込みは
こちらから



申し込みフォーム